

[社会](#) >
記事

東久留米、イオン出店暗礁 街の将来像含め再検討を

2007年8月6日(月) 03:21



大手総合小売業「イオン」(本社・千葉市)が、東久留米市南沢の旧第一勧業銀行ひばりが丘グラウンド跡地(約5万5700平方メートル)に出店を予定している大型ショッピングセンターの建設計画が暗礁(あんしょう)に乗り上げている。野崎重弥市長が税収増を狙って誘致を進めてきたが、地域住民や商店主らが住環境の悪化、商店街への打撃を理由に反対運動を展開。今年4月のオープンを予定していたが、現在も着工のめどは立っていない。(山本雄史)

3億円の税収増

イオンが出店の意向を表明したのは平成17年5月。同跡地に計画されているのは地上4階、延べ床面積約9万5000平方メートル、約2000台の駐車場を完備した大型ショッピングセンター。延べ床面積は、市内の全小売り店舗の面積に匹敵する規模で、1日当たりの来場自動車台数は約7600台と試算されている。

同跡地は第1種中高層住居専用地域で、本来は商業施設は建設できない。ただ、市側は地区計画を活用して建設を進める方針で、幹線道路と店舗をつなぐ市道整備の予算を組んでいるほか、法人市民税などで年間約3億円の税収増を見込んでいる。

だが、近隣には老人ホームや市立小学校があるうえ、周辺道路も狭く、住民からは「さらなる交通渋滞は必至。住環境が悪化する」などと懸念する声が上がっている。

商店主は猛反発

出店となれば、北多摩地域では数少ない大型商業施設となるだけに、市内の商店主らは「客が来なくなる」との強い危機感を持っている。

これまでに市内すべての商店会長20人が出店計画に反対する要望書を野崎市長に提出し、税増収の根拠をただす陳情なども再三にわたって行っている。

市都市計画課は「住民側との話し合いは平行線をたどっているのが現状。ねばり強く説得したい」としているが、市商工会の幹部は「市内の商工業者の経営は厳しい。市側が一方向的に進める出店には納得できない」との見解を堅持している。

住民や商店主らの同意がなければ出店は難しいとみられ、イオン側は「現時点では(出店を)検討している段階」と述べるにとどめている。

「ファスト風土」


大型ショッピングセンターの出店により、既存商店街が衰退するケースは、1970年代後半から地方都市で表面化。国の商業統計調査などによると、平成12年の大型店舗の出店を容易にする大規模小売店舗立地法制定以降、その傾向は全国で一層強まっている。

消費社会研究家の三浦展氏は「ファスト風土化する日本」(洋泉社新書)で、大型ショッピングセンターなどが全国一律に立ち並ぶようになった状況を「ファスト風土」と表現。地域の固有の文化が失われることに警鐘を鳴らしている。

自分の街にふさわしい商業施設は何なのか。交通渋滞を覚悟で利便性を追求するのか。住民はそれを望んでいるのか。イオンの出店を阻止すれば商店街の衰退を守ることができるのか - 。

市は出店計画について、地域住民や商店主に十分に説明したうえで、街の将来像も含めた幅広い論議を尽くし再検討する必要があるのではないだろうか。

 [この記事についてブログを書く](#)

 [この記事についてのブログを読む](#)

【PR】 [富士通パソコン直販](#) - 無料登録で液晶テレビやデジカメが当たる！

【PR】 [まるでホテルなマンション](#) - プールにジムも...憧れセレブ生活

【PR】 [あなたの愛車、今いくら？](#) - 『買い取り実績No.1』ガリバーの愛車査定

関連ニュース

[世界陸上25日開幕 「特需」地元もヨイドン](#) (産経新聞) 08月16日 16:03

[地震1カ月、再生の灯見えた](#)(新潟日報) 08月16日 12:00

[商店街の7割が衰退の恐れ 中小企業庁の調査](#)(共同通信) 08月09日 16:54

[大都市「バブル」、格差拡大=地方も「二極化」 - 集客力が明暗・07年路線価](#) (時事通信) 08月01日 14:54

[中越沖地震から2週間 空洞商店街、被災追い打ち](#)(朝日新聞) 07月30日 14:38